



段ボールコンポスト ヒント集 秋・冬



寒くなってくると、段ボールコンポストの分解も遅くなります。
秋～冬にかけての季節に段ボールコンポストと上手く付き合うための
ヒント集です。



ヒント1 生ごみの分解が進まない・・・原因と対策

- 投入する生ごみが野菜くず中心
 - 微生物が分解するためのカロリー不足が考えられます
廃食用油や米ぬか、炭水化物など高カロリーな物を入れてあげましょう
- 母材がさらさらしている
 - 水分不足が考えられます
少ししっとりしているくらいが理想的です。
- 母材がだまになっている
 - かき混ぜ不足が考えられます
生ごみを入れたら手で底からしっかりかき混ぜましょう。
母材をふるいにかけて分解されなかった生ごみを取り除きましょう。
(取り除いた生ごみは水分が抜けて分解が行われない状態です。貝殻以外は庭に埋めるなどすれば、地中で分解されます)
- 母材がべとべとしている
 - かき混ぜ不足か、堆肥にするタイミングです
アンモニア臭や腐敗臭のようなものがしている場合は、堆肥にするタイミングです。生ごみの投入を中止し、1ヶ月以上熟成させましょう。
- 生ごみを入れても温度が上がらない
 - ヒント2へ

ひとことメモ

分解しにくいな、母材の様子が少し変だなと思ったら、数日間生ごみの投入をやめて、かき混ぜるだけにするのも一つの方法です。

段ボールコンポストも人のお腹と一緒に、具合が悪い時はちょっと休ませてあげてください。

